

十和田のお宝マップ



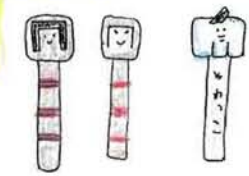
乙女の像



「貴重品の品々」
 清月軒には十和田湖の昔の地図、写真、金、切手など、セブごをな歴史も感じるものがたくさんあります。また、江戸時代のこの日本地図や、棟方志功の糸金など、超貴重なものもありません。レストランはホテルに自來水「祭期間」可能なので、興味のある方は是非!!



「数々のこけし」
 温泉が人気のホテル十和田荘では、東北各地のこけしがたくさん見られます。マニアが30分も立ち尽くして見る高いものもありません。必見の品々です。



民宿 春山荘
 孔雀荘
 荘5家

「こぎん刺し」
 ねぶた903はおもにねぶた漬物を売っている店、店の商品は県産のものばかり。お宝はこぎん刺し。今は希少価値も高く、なかなか手に入らない品々です。見ると価値大です。

「大町桂月の巻」
 十和田湖温泉には山水閣眼の士・大町桂月直筆の書が初です。十和田湖と奥入瀬をこなく愛した、十和田湖を代表する大町桂月の書は説明不要、必ず見なければならぬ品々です。大町桂月の世界へ入るまで、十和田湖月をより一層、体感してください。

「三童心」
 お食事処 かねどの店頭にある中国語の看板は「お泊りにいらして」という意味です。この店のお土産の商品はヒュムス関連の品で、裏メニューに「ヒュムスの姿ハク」が予約電話予約が必要で、予約は早めにとのこと。お宝は隣のお土産屋さんに置いてある三童心、秋彩、花夜という名前の神秘的なこけし。後者は二つは特注品で8万円以上します。元々様々なの木の傷もお宝ですが、販売していない非売品です。ぜひ見せておくれ!!



「巨大空瓶」
 田子屋酒店は県産のお酒を置いている店で、よく売れる金瓶は「八甲田」と「雪中貯蔵」です。この店のお宝は、とても大きい「南祖の坊」というお酒の空瓶。今も昔もお店の看板であるとのこと。今では買えないので、マニアにはたまらない品です。

「48万円のやかん」
 ななくま屋の店中にある大きなやかんの値段はなんと48万円!! 過去に3回売れ、建築会社の人がお祝いのためにやかんや火鉢を買ったとのこと。片手で持つのも困難なこのやかん。小指で持ち上げるとおかしな...

